

～印象記～

第4回の研修会では、繁岡 秀俊先生をお迎えし「地域との関わり方と急性期・回復期のPTに求めるもの」をテーマにご講義頂きました。

今回の研修会は、知識伝達型の講義ではなく、ワークショップ形式も取り入れていただき、参加者自身も地域との関わりについて考える時間をいただきました。私自身理学療法士として、理学療法の認知度を地域に広げていきたいという願望はあるものの、実際にどのように広げていくかということを考えた時に殆ど考えがうかばないことに気がつかされました。繁岡先生の講義から、地域の広報誌などにも目を通して地域に参加していくことを教えていただきました。加えて、「私は〇〇が得意（が好き）である」という問いをいただきました。この〇〇の中に地域と関わるきっかけがあるのではないかと教えていただきました。先生の場合は落語であると即座に言われていました。この先生の姿勢から日々の理学療法に加えて、自己啓発をなされ行動にうつされていることを強く感じました。それと同時に理学療法の技術・知識を深めつつ、自分の得意なことや好きなことにも全力で磨きをかけることが理学療法の可能性を広げることに繋がると感じました。

また、繁岡先生の講義を通して、改めて人への伝え方も学ばせていただくところがたくさんあり実りの多い研修会でした。

今後も奈良県理学療法士協会研修部では、少しでも興味を持っていただける内容を研修部一同で取り組んでいきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。最後になりましたが、大変お忙しい中ご講義を快諾頂きました繁岡先生に、深謝致します。（研修部 井上裕水）

